

OSS管理ツール FOSSA

FOSSAによりOSSライセンスの
法務レビュー工数を大幅に削減

FOSSA

独立系システムインテグレーターとして数多くのお客様にソリューションを提供しているNSD。本事例では、「OSS管理ツール FOSSA」の導入で、OSSライセンスコンプライアンスの遵守、および作業効率の向上を実現したNSDの事例についてご紹介します。

課題

OSSライセンスは法務レビューなどの調査に時間がかかる

法務担当者のスキルや言語能力など、さまざまな要因によりレビューの精度が変わる

効果

OSSライブラリとそのライセンスを自動的に把握できるため調査工数が大幅に削減された

あらかじめ用意されているポリシーのおかげで注意すべきライセンスの有無がすぐに分かるようになった

Company Profile



本社所在地	東京都千代田区神田淡路町2-101ワテラストワー
事業所	大阪支社、名古屋支社、福岡支社
設立	1969年4月8日
従業員数	3,522名（連結） [2021年3月31日現在]
主な事業内容	システム分析・設計の受託、プログラム開発及び受託、コンピュータ室運営管理、ソフトウェアプロダクト
URL	https://www.nsd.co.jp/

NSDは1969年創業の独立系システムインテグレーターとして、ソフトウェア開発、ITインフラの構築、サービス利用型のITソリューションを提供しています。独立系の強みを活かした最適な提案と実践で磨いた品質管理能力やプロジェクトマネジメント力を発揮することにより、これまで数多くのお客様からの信頼を得ています。

NSDは、金融業向けシステム開発に強みがあり、銀行や保険会社などのシステムの全般を手掛けています。加えて、社会インフラを担う航空・鉄道・通信などのシステムから、サービス業・製造業・小売業などのシステムまで広範なお客様の事業の発展をITの側面から支援しています。

近年では、AIやIoTなどの新技術が普及し、お客様のニーズが益々高度化する中、NSDは自社開発のみならず、顧客と協働で調査研究を進めるなど、先端技術の開発・利用についても積極的に展開しています。

背景

法務部門の負担となっていたOSSライセンスの調査

近年、OSS（Open Source Software）が個人や企業問わずさまざまな場面で利用されています。NSDも例外ではなく、先端技術の活用や研究開発の進展により、ソフトウェア開発でOSSを利活用する場面は増加していました。一方で、OSSの利用に関しては必ずしも全社的な統一の理解やルールではなく、各プロジェクト責任者の判断に委ねられている部分が多いのが実情でした。特にOSSのライセンスにおいては、法務担当者が各プロジェクトから相談を受けて法務レビューを行い、法的に必要な対応を随時行っている状況でした。

「ライセンスの法務レビューには工数がかかることにくわえて、法務担当者のスキルや言語能力など、さまざまな要因により精度が変わることがあります。法務担当者の人数も限られているなかで、どのようにライセンス遵守体制を構築するかが課題になっていました。」（経営企画部法務室 室長 山本氏）

効果

FOSSAの導入により工数を大幅に削減

課題に対応するために、NSDではFOSSAを導入しました。FOSSAはOSSの依存関係やライセンスを自動的に検出し、強力なポリシー機能でOSSのライセンス管理を効率化する新世代のOSS管理ツールです。本ツールの導入が法務部門の負担軽減に大きく役立ちました。

「FOSSAを導入したことにより、ライセンス調査の工数が大幅に削減できました。あらかじめ用意されているポリシーのおかげで、開発中のソフトウェアの提供方法の違いによって注意すべきライセンスの有無もすぐに判明し、法務担当者側の調査能力の向上にも寄与しています。」（山本氏）

効果

セキュリティのスキャン機能も好評

FOSSA導入による副次的な効果もありました。近年のOSS利活用においてセキュリティ脆弱性のリスクは無視できないものになっていますが、この点においてもFOSSAが評価されました。

「導入検討段階では、セキュリティのスキャン機能については重要視しておりませんでした。しかし、実際にFOSSAでスキャンをかけてみると、セキュリティの脆弱性診断が好評でした。FOSSAを通じて技術管理を担当する部門も容易にサポートに入ることができ、セキュリティ面における製品の安全性が飛躍的に向上していました。」（山本氏）

展望

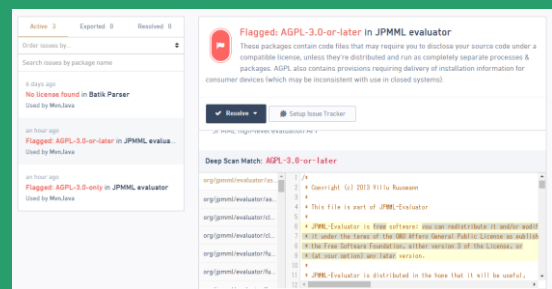
今後は全社的なOSS管理を推進

今後の自社の展望について、山本氏は以下のように述べています。

「FOSSAを導入して日が浅く、まだまだ全社的にOSSへの理解の深耕は十分ではありませんが、自社のエンジニアにFOSSAを積極的に活用してもらいつつ、OSSライセンスへの理解をより広げていきたいと思えます。また今後、受託開発においてはOSSのライセンス遵守状況の調査や報告が求められるケースが多くなっていくものと考えられます。全社的なOSSの取り扱いルールや社内規定の整備を進めていきたいと思えます。」（山本氏）

FOSSA

FOSSAはOSSのライセンスコンプライアンスおよびセキュリティ脆弱性のリスクを包括的に管理するためのポジション解析（SCA）ツールです。開発環境と統合した効果的なポリシー機能とレポートで、企業のOSS利活用をサポートします。



※本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。

※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

※本リーフレット中の情報は、作成時点のものです。